

地域活性化を目指す三世代交流事業 ～住みよいまちづくりを推進するために～

飯塚市 飯塚公民館【公立公民館】 館長 津之下 由道
係長 平田 敏 祥

1. 飯塚市について（概要）

飯塚市は、県の中央部に位置する筑豊地方の中心都市で、福岡市の東約35km、北九州市中心部の南西約40kmの場所に位置します。

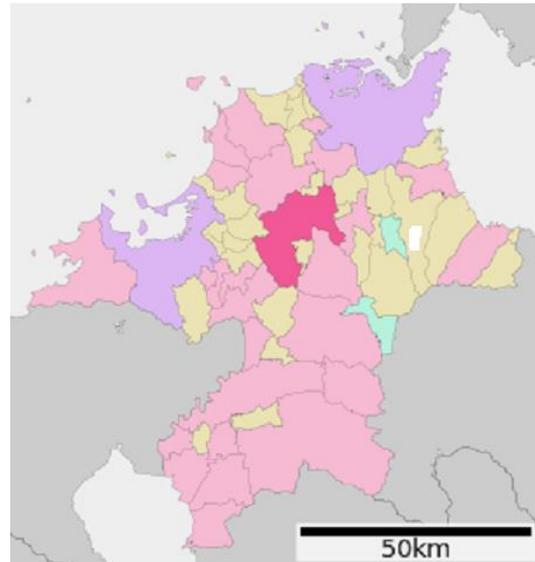
平成18年度に、飯塚市、穂波町、筑穂町、庄内町、颯田町の1市4町が合併し、新たな飯塚市が誕生しました。

平成28年11月末現在の人口は、男性61,461名、女性68,634名で、合計130,095名です。

江戸時代に現在の市域に長崎街道が整備され、現在の市の中心部に飯塚宿が、市南部（旧筑穂町）に内野宿が整備され、それぞれ宿場町として栄えました。

1642年、筑前国内区間には、全部で6か所の宿場町があり、「筑前六宿」と呼ばれました。

現在、飯塚公民館が建っている場所は、1592年（文禄の役）で、黒田官兵衛が朝鮮出兵のおり、初めて飯塚に宿泊した太養院というお寺が建っていましたが、太養院が移転した後に「上の茶屋」（本陣）「御屋敷」（代官所）を黒田藩が建設しました。



【現在の飯塚宿（本町商店街）】



【現在の内野宿（旧筑穂町内野）】

2. 飯塚公民館の概要

- 敷地面積 1, 650㎡ (約500坪)
- 建物面積 921㎡ (約279坪)
- 主要構造 鉄筋コンクリート2階建
- 建築年 昭和57年
- 1階部分 第1研修室、第2研修室、和室3号、図書室、児童室、事務室
- 2階部分 大研修室、和室2・3号、調理実習室

3. 飯塚公民館の活動について

- サークル数 27サークル (会員数339名)
- 年間利用者数 32, 812名 (内サークル生 13, 433名)
- バスハイク、人権研修、公民館まつり、大掃除、火災避難訓練等



4. 地域活性化を目指す三世代交流事業

住民自らが考え責任を持って、魅力ある住みよいまちづくりを推進するため、行政各種団体及び警察署との連携のもとに行動することにより、地域が抱える課題の解決に向けて協議し、安心して暮らせる地域社会を形成するとともに、住民相互の活動により飯塚・片島地域の発展に寄与することを目的に活動しています。

5. 実施に至る経緯

飯塚・片島地区は、飯塚市の中心市街地でマンションや商店街・繁華街があり、田んぼや大きな畑がない地域です。

小学校も2校ありますが、地域外から通学する児童も多く、子ども会がない自治会も多くあり、地域行事に子どもたちの関わりが少なくなっています。

地域の方々との交流や地域行事への参加を促すために、様々なプログラムを企画し参加呼びかけを行っています。

6. 熟年者マナビ塾

地域の高齢者が小学校の空き教室を利用し、小学校で自主学習やボランティアで学校支援を行い、子どもたちと関わることで、元気で社会に必要とされることを認

識し、高齢期を楽しく生活していくことを目的としています。そこでの活動を通して児童の健全育成、学校の活性化及び特色ある学校作りに協力していくものです。

折り紙指導



学校で芋掘り



7. まちづくり協議会と公民館

飯塚公民館としても様々なプログラムを企画し、子どもたちも含め地域の方々の交流を支援しておりますが、飯塚・片島まちづくり協議会でも地域に存在する各団体や住民をつなぎ合わせ、地域の活性化につながる様々な事業を展開しています。



【芋掘り終了後】



【稲刈り終了後】

8. 成果

まちづくり協議会と共同で新たな事業を行うことで、公民館事業に興味を示さなかった方々も参加し、子育て世代の参加も少しずつ増加しています。また、子どもたちには、(さつま芋)や(米)を作ることにより、農産物が出来るまでの大変さや苦勞が体験でき、食の大事さが学習できたと考えます。

問い合わせ先

〒820-0042 飯塚市本町 20-17

飯塚公民館 館長 津之下 由道

TEL 0948-22-2379